

○ 論点7 国の役割に関する道内の状況（道が独自に実施した調査、ヒアリング等）

道が関係者に行ったヒアリングでは、

- ・入国者増加により、実習機構及び地方入国管理局の審査に時間が掛かり、予定していた時期に入国できず、事業計画に支障が生じることがある
- ・外国人の入国や転職に際し、年々申請書類が増えている上、書類の提出先が多く、作成する書類の内容も非常に煩雑であり、資料作成に時間が掛かり、実習実施者・監理団体の負担となっている

との声が多く聞かれたことから、審査の簡素化や負担軽減などの対応をお願いしたい。

○ 論点7 国の役割に対する道の考え方

道としては、これまでも実習生の円滑な入国の必要性について提案してきたが、今後、人材確保と人材育成を目的とした新たな制度の創設や特定技能2号の分野拡大によって、国内の外国人労働者の増加が見込まれることから、入国時のみならず、入国後の在留資格更新等の手続きの遅れが生じないよう、地方における手続きの簡素化や体制の整備などが必要ではないか。